

都道府県名：徳島県 団体名：特定非営利活動法人新町川を守る会

地域

新町川を守る会が活動している徳島市は、徳島県の東部に位置し、四国最大の大河である吉野川が流れています。市内には138もの河川が流れており、水との関わりが強く、水とともに発展してきた地域です。市民と行政が協働して水を生かしたまちづくりに取り組んでいます。

経緯

平成2年 新町川を守る会を発足

平成26年 手づくり郷土賞(大賞部門) 受賞

平成27年 ダム建設功績者表彰受賞

平成29年 流域水管理条例に基づく水管理推進功績者知事表彰受賞

功績内容

新町川を守る会は、平成2年、「市民の汚した川は市民の手できれいに再生しよう!」と有志10人で会を発足、毎月2回ボートで新町川の清掃を始めた。平成11年からは、新町川の本流にあたる吉野川にも活動範囲を拡大し河川環境の保全に貢献している。

また、2001年(平成13年)からは、吉野川源流の森林保全活動に着手し、高知県大川村村有地2haを無償で1000年間借り受け、「3001年の森」と名付け照葉樹の植林を始めるとともに毎年5月・10月に間伐、下草刈り等の手入れと、大川村の人たちとの交流を続けている。

さらに、大川村の交流だけでなく、「四国はひとつ、四国の森はひとつ」の理念の下、早明浦ダムに関係する団体等が集まった「さめうら水源の森ネットワーク」が平成17年に発足したのを契機に、以降、毎年春と秋の2回早明浦ダム周辺の森の植樹や間伐、下草刈りなどの協働活動に参加するなど「できる人が、できる時に、できること」を会の基本精神として活動の輪と和は更に広がっている。



クリーンアップ活動



3001年の森 上下流交流



リバークルージング活動



森の健康診断